

第 2 章

安来市の地域特性

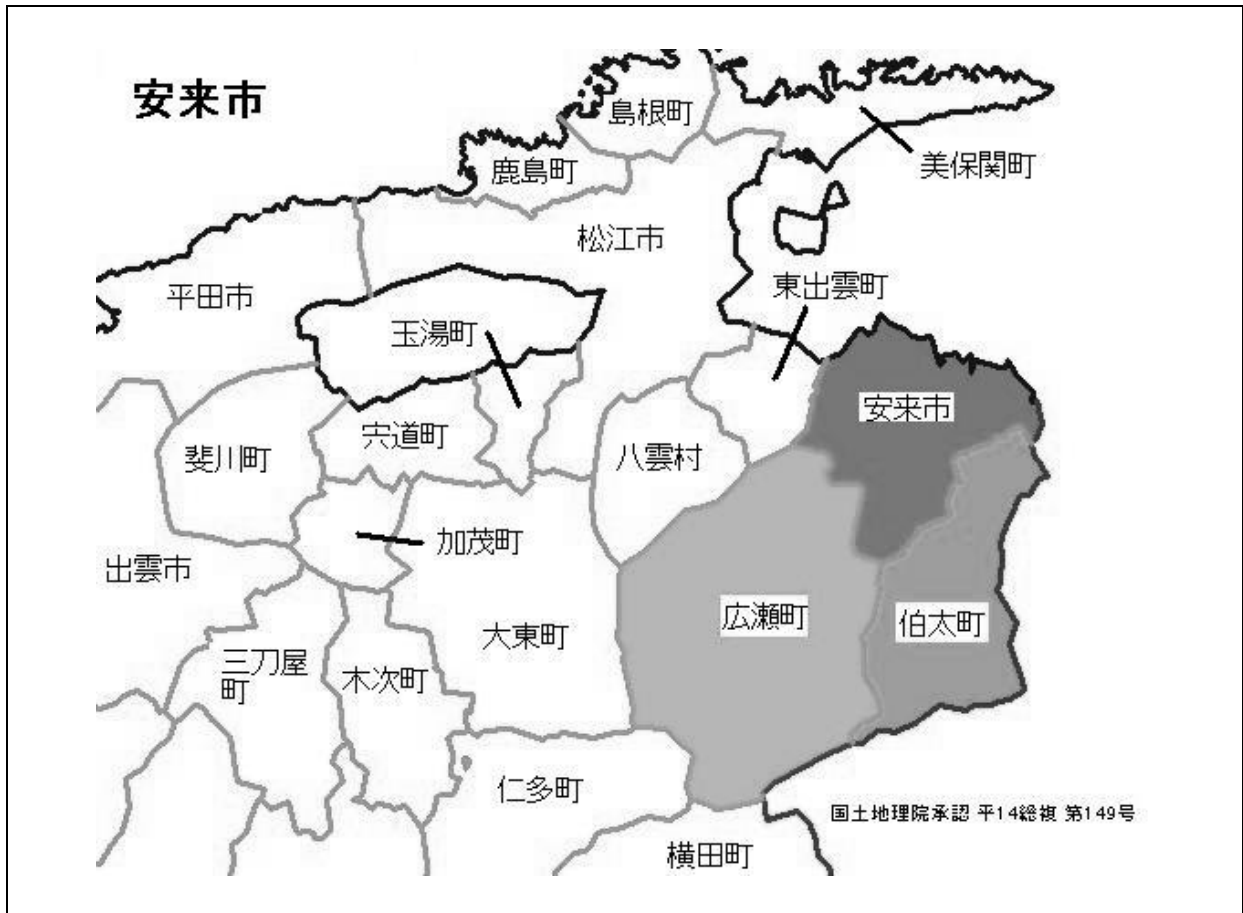
第1節 安来市の位置・沿革

1. 安来市の沿革

本市は、旧安来市・旧広瀬町・旧伯太町が平成16年10月1日に合併して誕生した新「安来市」である。

本地域は、古くから存在した数多くの集落が、明治時代の市制・町村制の施行や昭和時代の町村合併促進法の施行、並びに平成時代の市町村合併特例法により現在の範囲で形成されている。

図表 2-1-1 旧市町位置図



1-2 気象

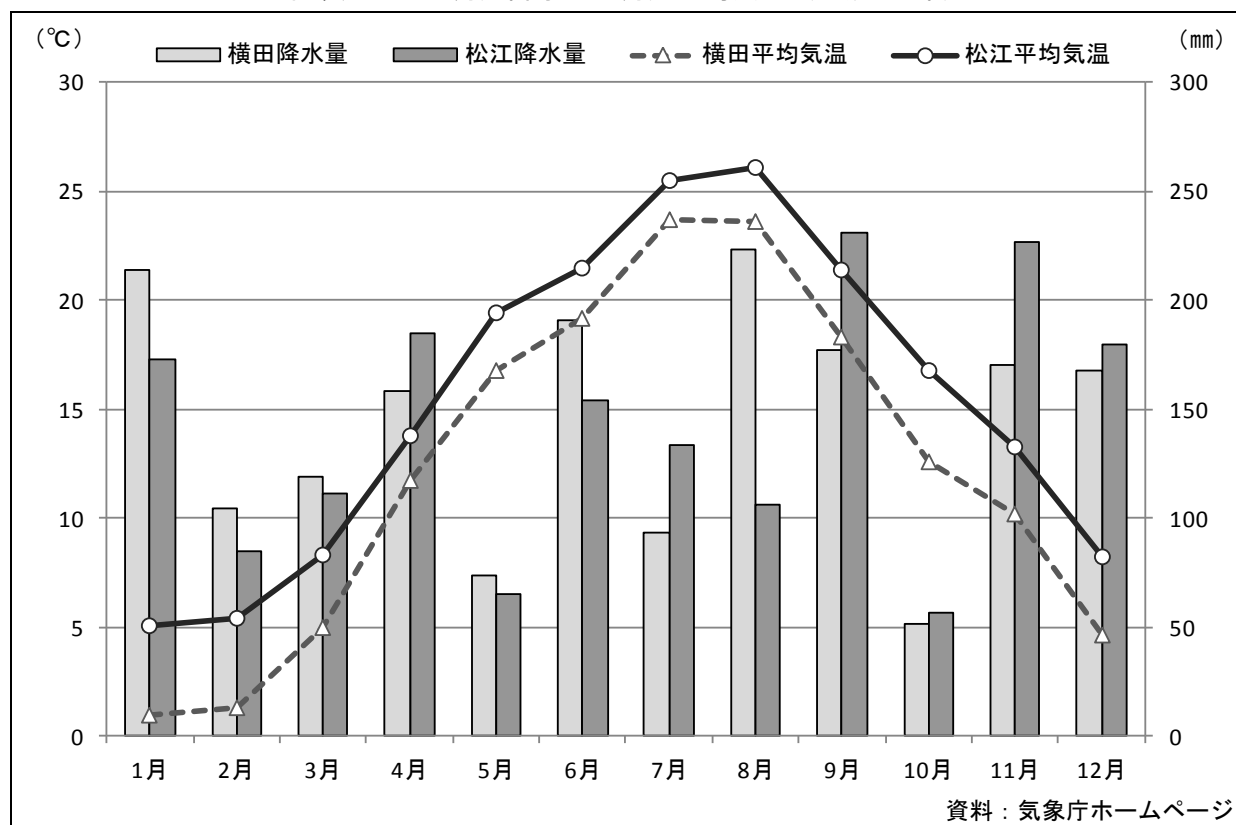
本市管内の近年の平均気温は12～15℃、平均降水量は1,800～1,900mmとなっている。気候は山陰特有の低温多湿で日照時間も短い。特に冬季は降水が多く、積雪もある。

図表 2-2-2 気象概要

観測所名 年月	横田地域気象観測所					松江地域気象観測所				
	気温(℃)			降水量 (mm)	積雪 (cm)	気温(℃)			降水量 (mm)	積雪 (cm)
	平均	最高	最低			平均	最高	最低		
平成23年	12.0	34.7	-11.4	2136.5	698	15.0	35.6	-4.2	1975.5	166.0
平成24年	11.8	34.6	-9.9	1659.0	704	15.1	36.3	-3.4	1561.5	91.0
平成25年	12.4	34.5	-11.0	1965.0	319	15.4	35.9	-3.1	2035.0	35.0
平成26年	11.7	34.8	-8.1	1892.0	509	14.9	36.0	-2.3	1818.5	85.0
平成27年	12.3	35.2	-7.6	1744.5	478	15.4	35.7	-2.4	1706.0	45.0
1月	1.0	10.7	-7.1	214.0	126	5.1	8.6	2.2	173.0	20.0
2月	1.3	11.7	-5.5	104.5	117	5.4	9.4	1.9	84.5	16.0
3月	5.0	23.2	-7.6	119.0	27	8.3	13.3	4.0	111.5	0.0
4月	11.7	27.4	-2.6	158.5	0	13.8	18.6	9.2	184.5	0.0
5月	16.8	29.4	4.7	73.5	0	19.4	25.4	14.2	65.0	0.0
6月	19.2	29.7	8.0	191.0	0	21.5	26.2	17.9	154.0	0.0
7月	23.7	34.5	13.7	93.5	0	25.5	29.1	22.6	133.5	0.0
8月	23.6	35.2	13.8	223.5	0	26.1	30.4	23.2	106.0	0.0
9月	18.3	27.5	8.7	177.0	0	21.4	25.5	18.3	231.0	0.0
10月	12.6	24.6	0.6	51.5	0	16.8	21.6	12.1	56.5	0.0
11月	10.2	21.1	-0.6	170.5	12	13.3	16.9	10.0	227.0	0.0
12月	4.6	15.9	-4.3	168.0	43	8.2	11.8	4.9	179.5	0.0
平成23年～27年平均	12.0	34.8	-9.6	1879.4	541.6	15.2	35.9	-3.1	1819.3	84.4

資料：気象庁ホームページ

図表 2-2-3 月別降水量・月別平均気温（平成27年）



資料：気象庁ホームページ

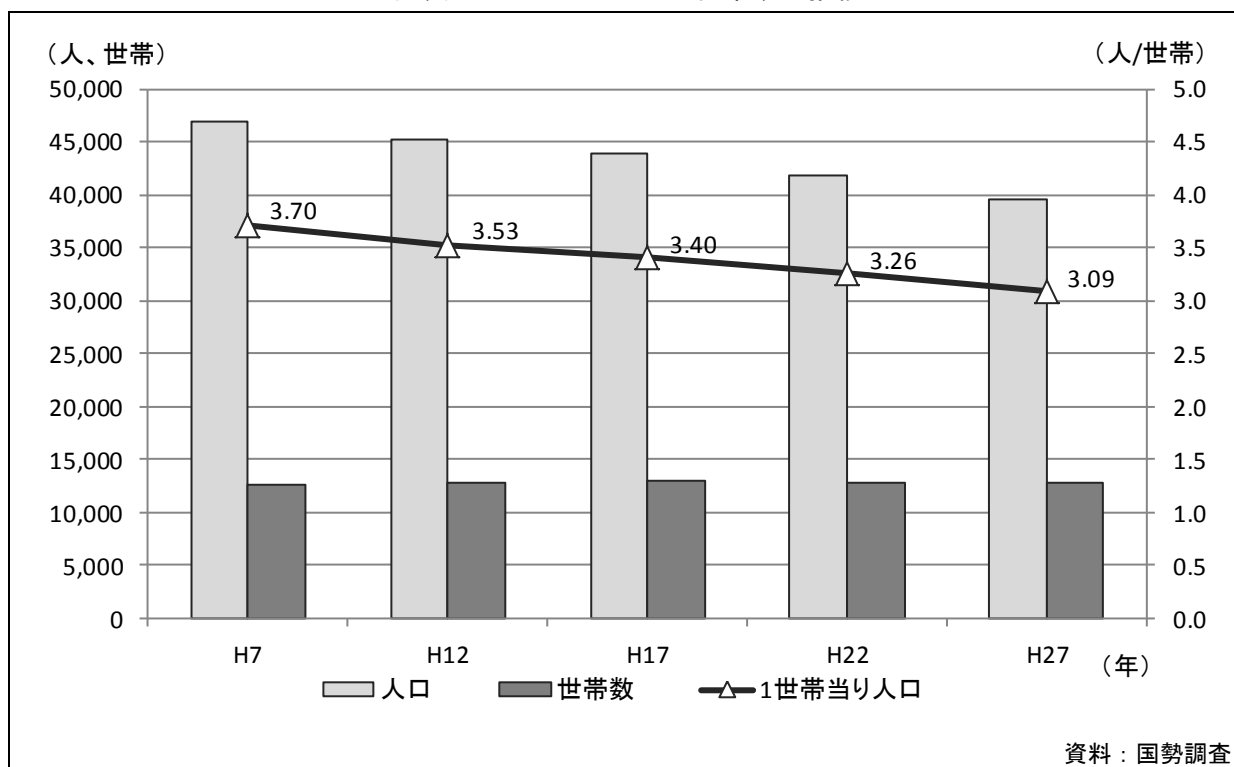
2. 社会環境

2-1 人口および世帯数

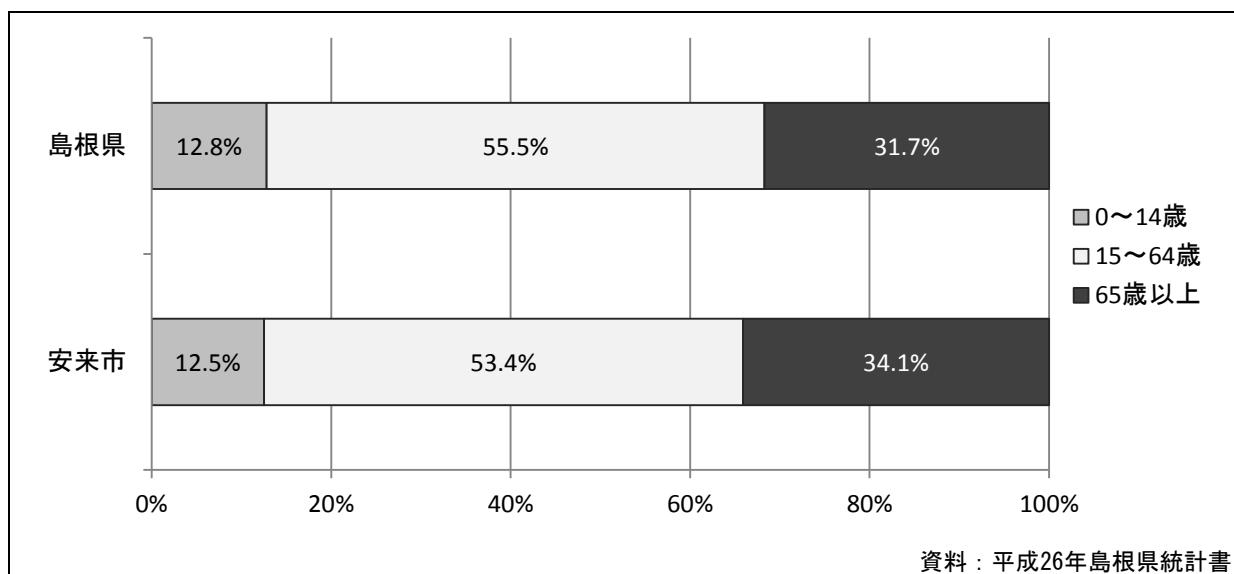
人口・世帯数はそれぞれ、平成27年10月1日現在で39,553人・12,796世帯であり、人口は年々減少しているものの世帯数は横ばいのため、一世帯当たり人口は年々減少し、核家族化の傾向が見られる。

年齢別では、65歳以上の老人人口が35%弱を占め、島根県合計と比べ65歳以上の割合が高い。

図表 2-2-4 人口および世帯数の推移



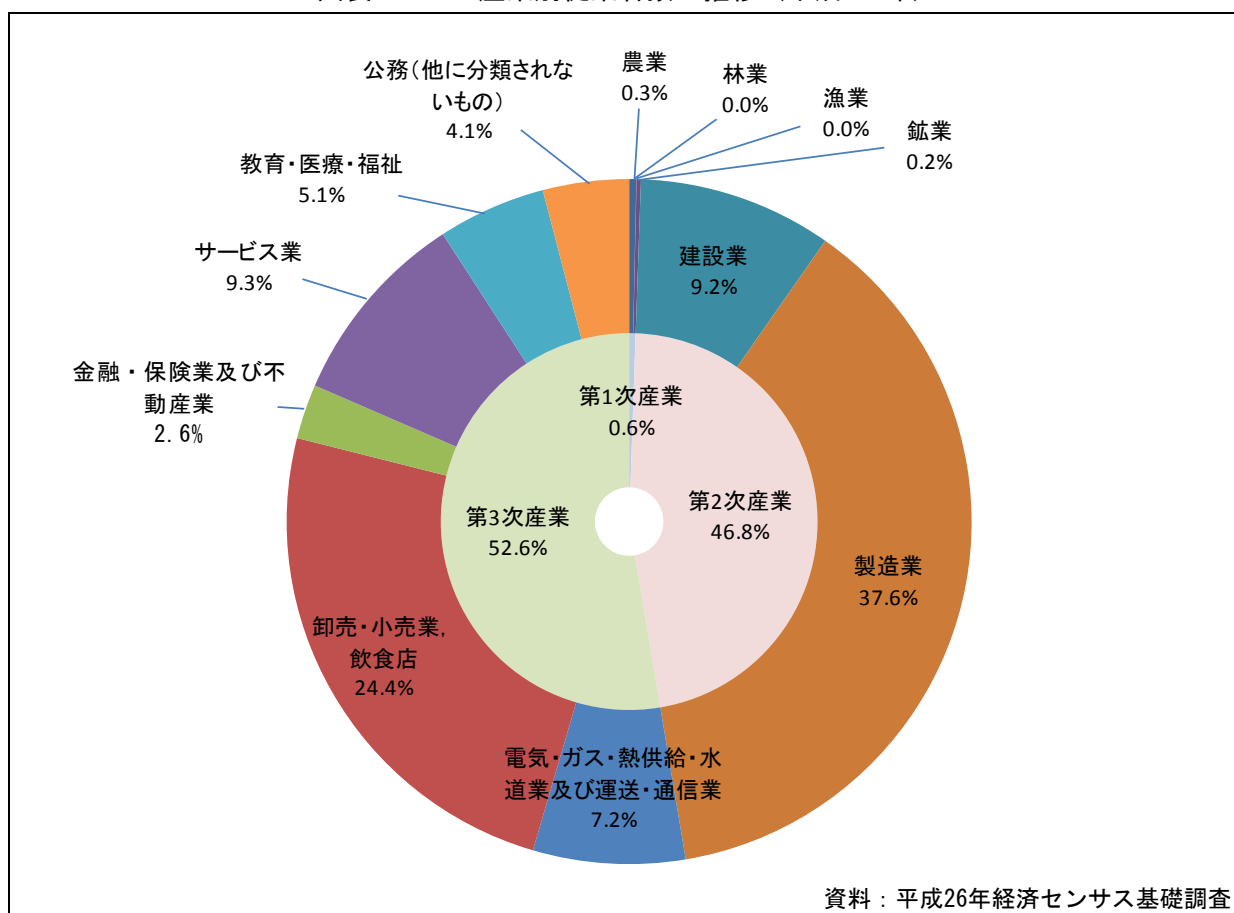
図表 2-2-5 年齢階層別人口割合（平成26年10月1日現在）



2-2 産業

第3次産業の割合が52.6%と最も多く、次いで第2次産業の46.8%、第1次産業の0.6%となっている。小分類別では、製造業（37.6%）卸売・小売業・飲食店（24.4%）が高い割合を示している。

図表 2-2-6 産業別従業者数の推移（平成26年）



2-3 観光

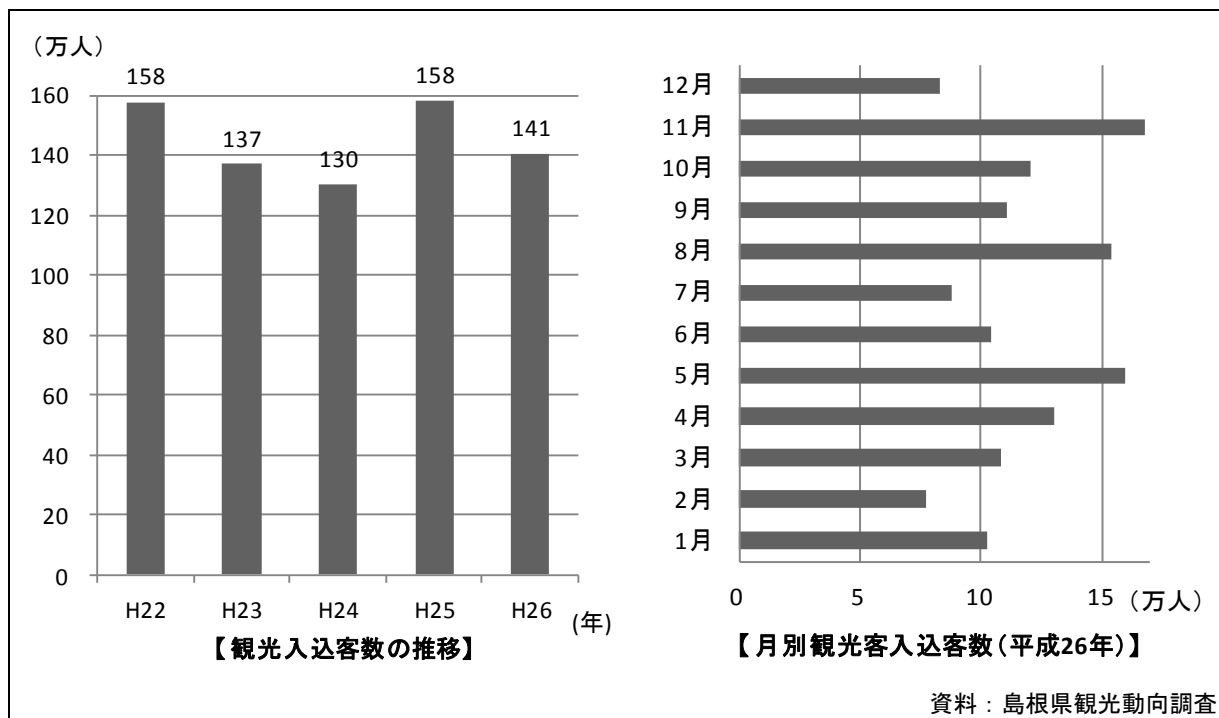
本市への観光客総数については、年間を通して5月、11月の観光客が多くなっている。特に多くの観光客が訪れている観光地は、「足立美術館」、「清水寺」があげられる。

図表 2-2-7 施設別観光客入れ込み客数

観光施設名	H22	H23	H24	H25	H26
足立美術館	591,816人	519,972人	438,392人	658,325人	540,251人
和鋼博物館	13,261人	8,370人	8,869人	10,116人	9,090人
清水寺	300,100人	207,600人	243,800人	246,900人	238,400人
鷺の湯温泉	166,048人	154,649人	155,635人	160,678人	158,570人
夢ランドしらさぎ	138,038人	134,287人	133,981人	142,428人	138,939人
安来節演芸館	102,890人	97,874人	80,392人	94,035人	87,697人
広瀬耕センター	27,857人	24,191人	23,734人	22,982人	24,035人
歴史民俗資料館	4,074人	3,656人	3,586人	4,346人	4,280人
月山の湯憩いの家	33,485人	34,090人	35,283人	34,886人	26,552人
富田山荘	47,423人	32,526人	26,372人	28,058人	26,185人
山佐ダム	2,666人	2,389人	3,554人	4,164人	4,302人
比田温泉健康増進施設	44,762人	39,137人	37,386人	39,675人	38,757人
金屋子神話民俗館	865人	734人	679人	811人	954人
チューリップ祭	5,000人	15,000人	32,000人	21,000人	18,000人
上の台緑の村	8,742人	10,123人	9,366人	12,952人	11,387人
やすぎ月の輪まつり	62,000人	60,000人	55,000人	80,000人	54,000人
やすぎ刃物まつり	29,000人	26,500人	15,700人	20,200人	24,200人
合計	1,578,027人	1,371,098人	1,303,729人	1,581,556人	1,405,599人

資料：島根県観光動向調査

図表 2-2-8 観光客入れ込み客数の推移



3. 都市環境

3-1 土地利用状況

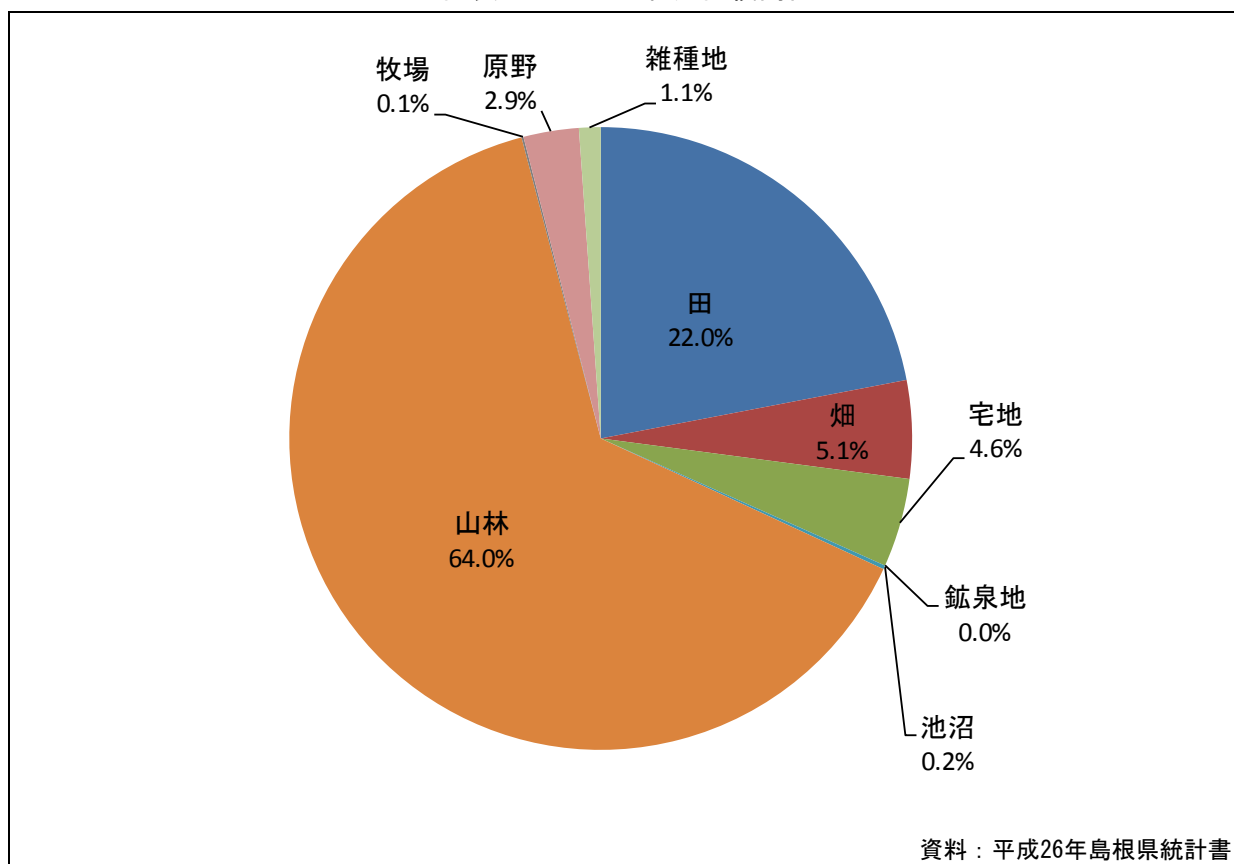
本市管内の民有地のうち、山林が約64%を、次いで田が約22%を占めている。

図表 2-2-9 地目別面積（平成26年1月1日現在）

地目	面積	割合
田	4,132,000 m ²	22.0%
畑	956,300 m ²	5.1%
宅地	8,67400 m ²	4.6%
鉱泉地	0 m ²	0.0%
池沼	37,200 m ²	0.2%
山林	12,028,100 m ²	64.0%
牧場	19,600 m ²	0.1%
原野	539,600 m ²	2.9%
雑種地	210,700 m ²	1.1%
合計	18,790,900 m ²	100.0%

資料：平成26年島根県統計書

図表 2-2-10 地目別面積割合



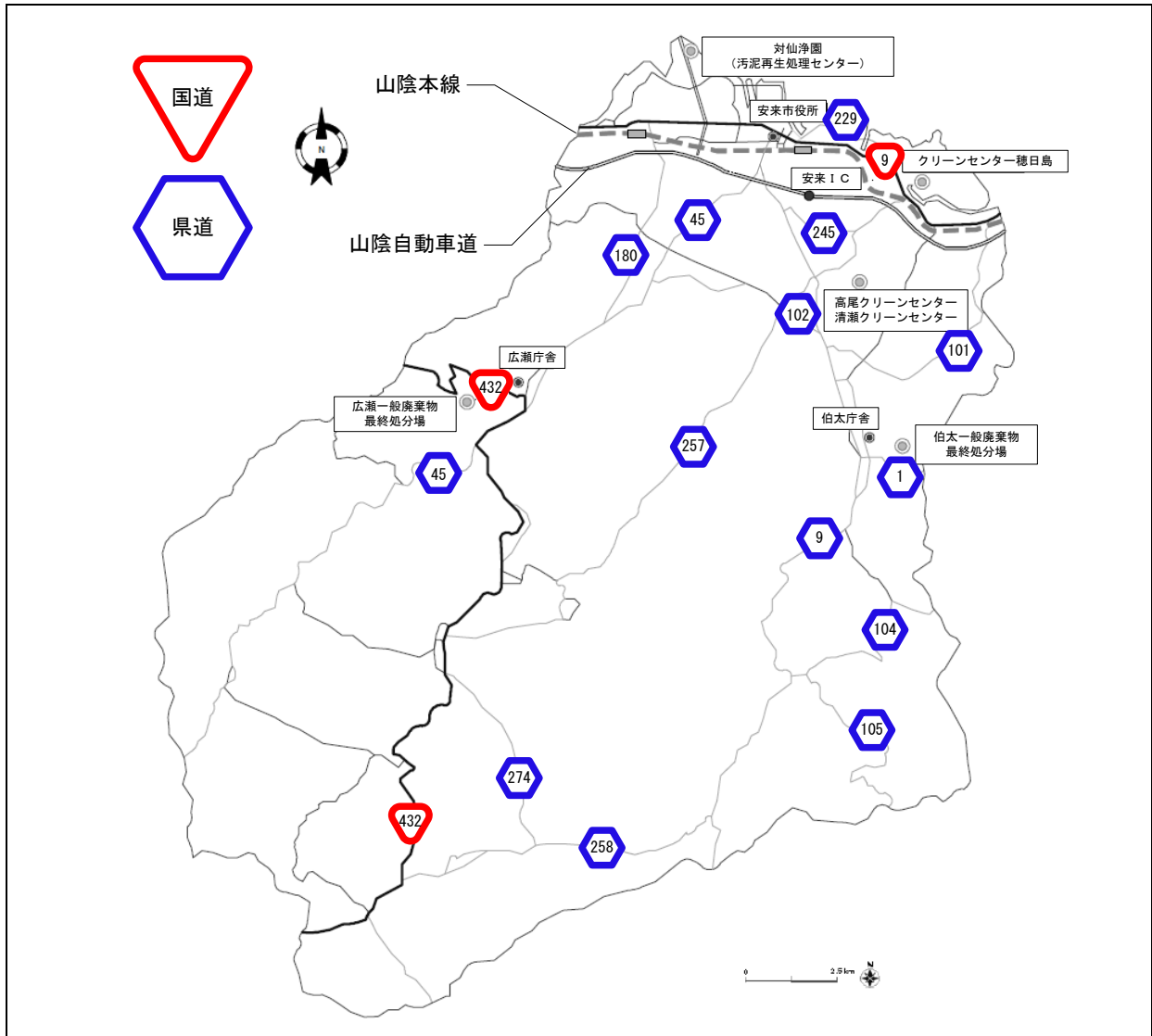
3-2 交通網

本市の北部では、山陰自動車道が整備・横断しており、安来インターチェンジから松江方面、鳥取県米子方面への移動に利用されている。

また、山陰自動車道に沿った形で国道9号線と、広瀬地域を縦断する国道432号線が整備されており、国道から県道が分岐している。

なお、市北部には山陰本線が整備されており、松江駅、米子駅へと繋がっている。

図表 2-2-11 交通網



図表 2-2-12 道路整備の状況(平成26年4月1日現在)

	実延長	改良済延長	改良率	舗装済延長	舗装率
国道	44,711m	44,711m	100.0%	44,711m	100.0%
県道	152,664m	112,514m	73.7%	152,629m	100.0%
町道	985,395m	525,437m	53.3%	759,217m	77.0%
計	1,182,770m	682,662m	57.7%	956,557m	80.9%

資料：平成26年島根県統計書

4. 生活環境

4-1 水道

本市における水道（上水道・簡易水道・専用水道）の普及率は98.3%である。

図表 2-2-13 水道の普及状況（平成 26 年 3 月 31 日現在）

行政区域内人口	給水人口	普及率
40,032 人	39,361 人	98.3%

資料：水道統計調査

4-2 汚水処理施設整備状況

汚水処理は公共下水道、集落排水処理施設および合併処理浄化槽により行われており、その普及率は85.4%である。

図表 2-2-14 汚水処理施設整備状況（平成 27 年 3 月 31 日）

行政区域内人口	処理人口	普及率
40,632 人	34,683 人	85.4%

資料：島根県下水道推進課